FY2026.6 1Q 決算AIサマリー

本資料は、2025年11月7日に開示した決算資料の内容をもとに生成AIを活用し作成しております。

連結



MarketplaceのGMV成長率回復、US GMVのプラス成長、FintechのCreditサービスが伸長するなど、主要3事業全てにおいて好調なスタートとなりました。売上収益はYoY +10%の494億円、コア営業利益はYoY +128%の93億円を達成しています。引き続きAIを活用したプロダクト変革を推進し、2Q以降はFY2027.6の成長に向けた必要な投資を強化しながら、通期業績予想の達成を目指します。

<u>主要セグメント別KPI</u>



Marketplace

GMVはYoY +5%の2,703億円、コア営業利益はYoY +18億円の84億円と高い収益性を実現しています。GMV増加は、安心・安全の取り組み成果や小型便の配送キャンペーンの効果、エンタメ・ホビーの伸長等が寄与しました。また、コア営業利益増加には、売上収益の増加に加えて「メルカリ ハロ」の投資額減少も寄与しました。

Fintech

売上収益はYoY +22%の142億円、コア営業利益はYoY +23億円となる27億円の増収増益となりました。「定額払い」と「分割払い」の成長により債権残高は2,691億円に伸長し、回収率は99.3%と高い水準を維持しており、成長とリスク管理の両立を実現しています。2Q以降も中長期的なトップライン成長に向け、「メルカード」会員獲得などの成長投資を強化する方針です。

US

プロダクトのコア体験強化や効果的なマーケティング等が順調に進捗したことで、GMVは8月からプラス成長に転換し、1Q GMVはYoY +0.4%の194百万ドルとなりました。コア営業利益は6億円を計上し、3四半期連続でブレイクイーブンを継続しています。引き続き、プロダクトのコア体験強化とカテゴリー戦略での差別化を推進し、通期でのブレイクイーブン及びGMV YoYプラス成長の達成を目指します。

免責事項

本資料は、2025年11月7日に発表した決算説明資料の内容をもとに生成AIを活用し作成しております。生成AIの特性上、文脈解釈や要約過程において元発言と異なる表現や不正確な情報が含まれる可能性があるため、その正確性・網羅性・完全性について保証するものではありません。詳細は決算説明資料や法定開示書類をご確認ください。また、本資料に含まれる情報は情報提供のみを目的としたものであり、投資判断その他の意思決定に用いる際は、必ず決算短信や有価証券報告書など正式な開示資料をご確認ください。